

## 第4回リニア駅周辺整備検討会議の報告

日時：平成28年2月12日 15:00～

場所：飯田市役所 C311～313号会議室

### 1 会議内容

- (1) 第3回検討会議について
- (2) 伊那谷自治体会議について
- (3) 駅周辺の住みやすさを考える会（仮称）について
- (4) 今後の進め方について
- (5) 各部会の検討状況について

### 2 主な意見の概要

#### (1) アイデア募集について

- ①幅広く意見を募集することになっているが、若い方の意見が積極的に集まるよう工夫をしてほしい。
- ②デザインという言葉はいろいろな受け止め方ができると思うが、魅力発信部会のミッションからすると、頂いたアイデアを十分活かされるように、しっかりと募集条件を整理したほうがよい。
- ③自分のアイデアが少しでも取り入れられることで、地域に対する愛着も生まれると思う。
- ④地域の歴史や文化を捉えていないという観点で、有名建築家が設計したものがキャンセルされるという事例が発生しているので、市民の関心を促すこと、市民の意見を取り入れる仕組みは重要である。また、それをどれだけ取り入れられるかが課題である。

#### (2) 環境・景観部会（委員）について

- ①上伊那地域で統一看板に関する検討をしていることもあり、上伊那地域の代表も委員に加えて頂きたい。
- ②これまでと異なる新しい駅にするためには、地元地域と外部から見た価値の双方に明るい方がメンバーに入ったほうがよい。
- ③誰を部会のメンバーに入れるかということではなく、上下伊那双方の意見（伊那谷らしさ）を取り入れるという視点を持つことが重要である。

#### (3) 環境・景観部会（内容）について

- ①環境は広域的な検討が必要であるが、景観は視覚的に見える範囲でいえば、そんなに広域的にならない。このように、環境と景観で重なる部分と異なる部分を認識しておく必要がある。

（次頁に続く）

- ②国際的、国全体で未来を見据えた環境面での取組が進められる中で、飯田市は「環境モデル都市」になっているので、具体的に何に取り組むのかを検討しなければならない。
- ③飯田市は「環境モデル都市」を掲げているので、10年後を見据えた場合、リニア車両以外の電力を水素により供給すれば、アピール度が高いと思う。
- ④水素化社会に関する提案はいろいろ出ているが、交通分野以外ではうまく取り入れられてないのが現状であるので、整備区域内での検討を進めて頂きたい。
- ⑤「ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」という言葉は閣議決定文書にも記載されているので、「環境モデル都市」として、駅周辺地域の建物でゼブを実現することは重要である。
- ⑥リニア駅周辺では、水素システムでゼロエネルギー化することが重要であり、そのコストやメリットについて、地域の方と合意形成を進めていくための検討をして頂きたい。

#### (4) その他

- ①車のスムーズな流れを考えると、整備区域内に南北道路を設けたほうがよい。